

図書館新聞

An illustration of a man with grey hair, wearing a dark blue shirt, sitting and reading a book to a young child with brown hair, also wearing a dark blue shirt. They are positioned in front of a large, glowing, abstract shape that resembles a book or a light source, with a warm yellow and orange glow. The background is dark purple and blue.

今月の内容

* 学生図書委員大賞

* あなたに合う

ラブストーリーは!? 診断

2月号
vol.2

発表!

図書委員大賞

2010

みなさん、本屋大賞という賞を知っていますか？本屋大賞とは書店員の有志が過去一年間に「おもしろい！」「この本を薦めたい！」という本に投票し決定する、非常に自由度の高い賞です。今回、私たち図書委員会もそれを手本にして「図書委員大賞」を企画し、各々の推薦図書を選考、投票の末大賞を決定いたしました！投票基準は「2010年に発行された、みなさんにおススメしたい面白い本」です。ぜひ本を決める際参考にしてみてくださいね♪

1位

『ストーリー・セラー』 有川浩

小説家の妻と彼女を支える夫を突如襲った、あまりに過酷な運命を描く2編の物語。Side:AとSide:Bで一對となっている。Side:Aは世界でたった一人しかいない小説を書く(深く思考する)と寿命が縮むという病気に妻がかかったお話。Side:Bは妻を支えてくれて、一番の読者だった夫に腫瘍が発見されるお話。どちらの物語も小説を夫のために書き続ける妻とそれを支える夫が深く愛し合っていて、窮地に立たされた時の辛く苦しい想いに胸が苦しくなります。多くの反響があるということは良いものだけでなく悪いものもあるということ。そのことがありありと実感できました。2010年で一番薦めたい、涙を誘う究極の愛の物語です。(学生図書委員 1年 西村彩香)

2位

『ひそやかな花園』 角田光代

毎年サマーキャンプに参加していた7人の子供たち。彼らの中でキャンプは天国のような記憶になっていた。しかし、成長していくうちに彼らは疑問を抱くようになる。あの集まりはなんだったのだから。彼らは、子どもの頃の甘やかな記憶に隠された秘密を知る。家族とは何か、自分とは何か。それぞれが問いを抱きながら、生きていく。この小説の言葉が持つ強さに勇気づけられました。きっと彼らはまた花園を築いていくだろうと、穏やかな希望に包まれた読後感でした。(学生図書委員 1年 飯塚千絵)



3位

『真綿荘の住人たち』 島本理生

池袋から遠くない場所に真綿荘はある。レトロな下宿におこる様々な恋がこの作品には描かれている。島本さんの小説の恋愛にはいつも肝をぬかされてしまう。この作品も例外ではない。ドロドロした人間関係も多々出てくる。けれども、この真綿荘に流れる空気は、程よく心地よい。いつか自分もこんな恋愛を体験するのだろうか？きっとないとは思いますが、この真綿荘の住人たちには是非とも幸せになってもらいたい。(学生図書委員 1年 内田友恵)



その他のノミネート作品

▼『桐島、部活やめるってよ』 朝井リョウ 集英社



バレー部の「頼れるキャプテン」桐島が突然部活をやめた。それがきっかけで、田舎の県立高校に通う5人の生活に、小さな、しかし確実な波紋が広がっていく。部活をキーワードに、至るところでリンクする5人の物語。桐島はどうして部活をやめたのか？ 17歳の彼らは何を抱えているのか？ 物語をなぞるうち、いつしか「あの頃」の自分が踏み出した「一歩」に思い当たる……。世代を超えて胸に迫る青春小説の傑作！第22回小説すばる新人賞受賞作。

▼『私の家では何も起こらない』 恩田陸 メディアファクトリー

この家、あたししかないのに、人がいっぱいいるような気がする……。ようこそ、丘の上の幽霊屋敷へ。恩田陸が描く、美しく不穏なゴーストストーリー。幽霊屋敷に魅了された人々の美しく優雅なゴーストストーリー。恩田陸が描く幽霊屋敷の物語。ラストには驚愕の書き下ろし短編が！



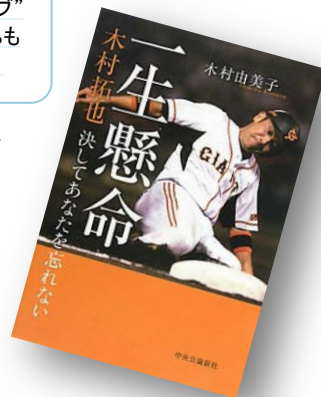
▼『キケン』 有川浩 新潮社



既にサークルの域は出た。活動内容もそうだが、集う人間の危険度が、だ。ヤバイ奴らが巻き起こす熱血青春ドタバタ劇。理系男子って皆こんなに危ないの？

▼『一生懸命』 木村由美子 中央公論新社

悲しみをこらえて妻が語る“究極のスーパーサブ”木村拓也の人生。夫との短かった生活、誰からも愛された人柄の秘密、彼が遺したメッセージ…。

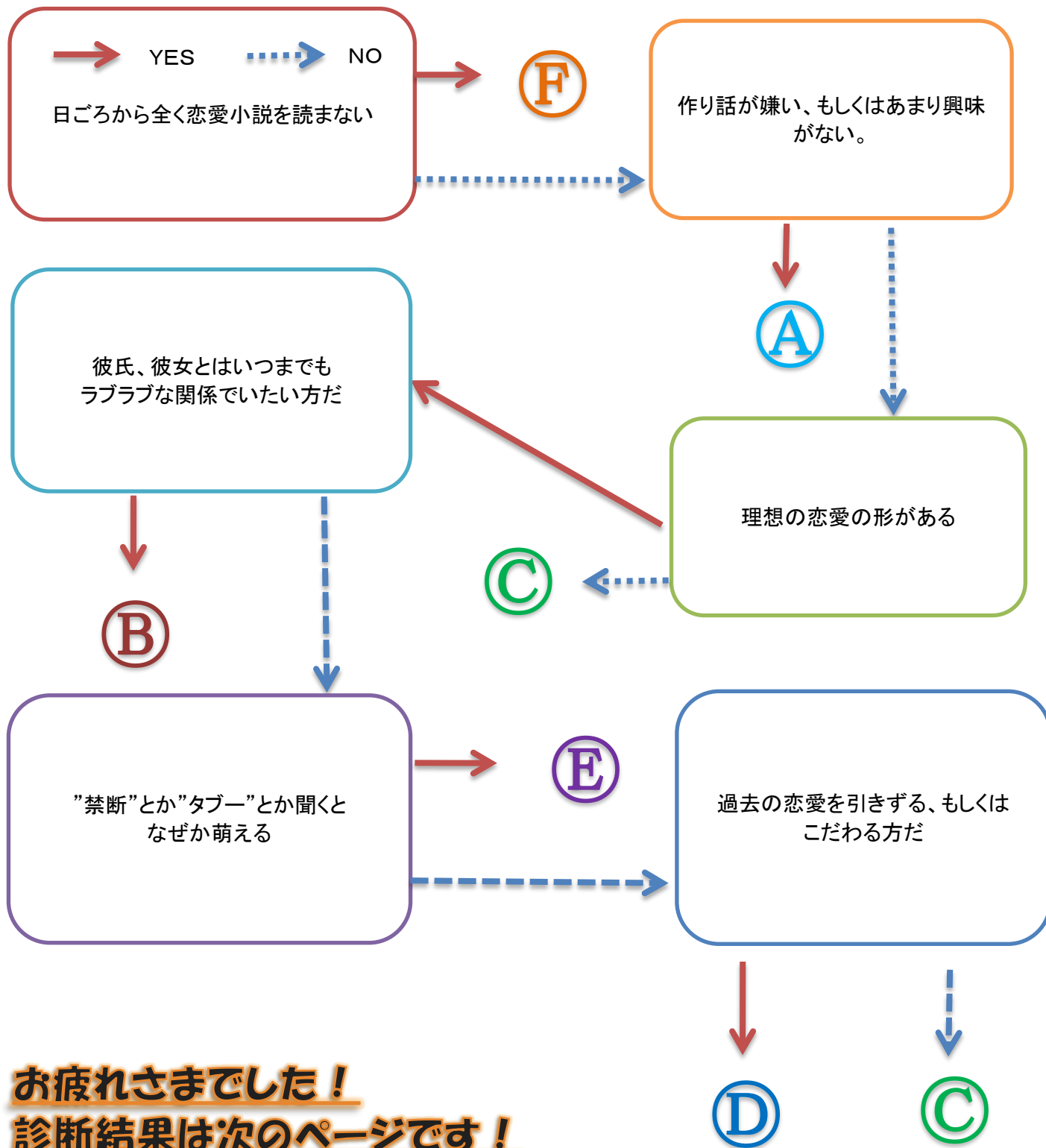


今回の大賞決定に際し、図書委員の推薦する図書が非常に多く、票が分かれましました。どの本も見どころが多く、票数が少ないからといって掲載しないのは勿体なく感じたため、3位以下の作品も掲載いたしました。きっと上記の中には皆さんが読んだことのない本があるはずです。上記の本はすべて本学の図書館で借りることが出来ますので、ぜひとも一度手にとりて見てください。みなさんの楽しいひと時の助けになればそれが図書委員にとって一番の幸せです。

あなたに合ったラブストーリーは！？診断

皆さんの中には、恋愛小説が好きな人もいれば、逆に少し苦手な人もいます。また、恋愛小説に挑戦しようかなと思ってはいても、「どの本を読んだらいいかわからない」、「恋愛小説と一口にいても、いろいろなタイプがあるしなあ・・・」と、困っている人もきっといるはず！
そこで今回図書委員会では、あなたに合うであろう恋愛小説、つまりラブストーリー診断を企画しました。
あなたに合った恋愛小説のタイプがきっと見つかるはず♪

スタート!



お疲れさまでした!
診断結果は次のページです!

A**リアリティー追求型**

嘘くさい作り話なんかは嫌！というリアリティー追求型のあなた。そんなあなたにはノンフィクションやエッセイがオススメ！主人公が実在するからこそ得られる感動や切なさ、そして面白さを心ゆくまで堪能してください！

**『クラウディア 奇跡の愛』**

村尾靖子
海拓舎 2003
戦争によって人生を翻弄された1人の男と2人の女の物語。最悪の人生を課せられながらも、最高の愛の形を遂げたクラウディアの信念は、比類なき崇高さをたたえた手紙となって愛なき現代に届けられた…。

その他のおすすめ…

- ・『昨日うまれた切ない恋は』益田ミリ メディアファクトリー 2004
- ・『ハニー&ハニー：女の子どうしのラブ・カップル』竹内佐千子 メディアファクトリー 2006

B**王道恋愛理想型**

甘酸っぱくてもどかしい、けどなぜかあこがれる。そんな理想的な純愛にひかれるあなたには、この3冊がオススメ。理想や恋愛観が“乙女”なあなた(男女問わず)なら、この本を読んできっとキュンとするはず！

**『キスまでの距離：おいしいコーヒーのいれ方 I』**

村山由佳
集英社 1999
彼女を守ってあげたい。誰にも渡したくない。高校3年になる春、年上のいとこのかれんと同居することになった「僕」。彼女の秘密を知り、強く惹かれてゆくが…。切なくピュアなラブ・ストーリー。

その他のおすすめ…

- ・『吉野北高校図書委員会』山本渚 メディアファクトリー 2008
- ・『もう、さよならは言わない』榊邦彦 新潮社 2008

C**恋愛観自由型**

恋愛観が自由なあなたには、アンソロジーやオムニバスがオススメ。“今は恋愛に興味無い…”とか、“いろんな話を読みたい”、“長い話は最後まで読めない”という方にピッタリの3冊です。きっとあなたの求める恋愛観が見つかるはず！

**『Present』**

角田光代/小説
松尾たいこ/絵
双葉社 2008
この世に生まれて、初めてもらう「名前」放課後の「初キス」女友達からの「ウェディングヴェール」子供が描いた「家族の絵」—小説と絵で切りとった、じんわりしあわせな十二景。

その他のおすすめ…

- ・『最後の恋 つまり、自分史上最高の恋。』阿川佐和子他 新潮文庫 2009
- ・『純情エレジー』豊島ミホ 新潮社 2009

D**失恋・悲恋共感型**

なかなか気持ちを切り替えられないあなたは、気持ちを引きずる主人公の気持ちがわかるかも…？失恋や悲しい恋から抜け出せない主人公を見て自分を振り返って見てはどうでしょうか？そしてそこから抜け出した時の晴れ晴れとした気分を味わってください！

**『好き、だった。初めての失恋、七つの物語』**

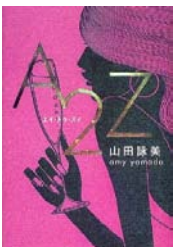
有川浩他
メディアファクトリー 2010
はじめて恋を失って、はじめて本気で好きだったのだと気づいた—。終わった恋、始まらなかった恋、始めてはいけなかった恋…七人七色の失恋のカタチ。はじめての失恋には、恋愛のすべてが詰まっている。

その他のおすすめ…

- ・『燃えつきるまで』唯川恵 幻冬舎 2002
- ・『好き、だからこそ』小手鞠るい 新潮社 2007

E**禁断恋愛趣向型**

恋愛はきれいなだけでは面白くない！という少し個性派でシュールなあなたには、禁断ラブストーリーがオススメ。「うわあ…」「へえ…」など、むしろ正統派ではないものの中にこそあなたの求める恋愛観がひそんでいるかも…？非現実に興味を持つ方にオススメです。

**『A2Z』**

山田詠美
講談社 2000
文芸編集者澤野夏美の勤める会社の向い側にある小さな郵便局、お仕着せの制服でうつむく成生と目が合った瞬間—
恋人の存在を打ち明ける夫一浩への複雑な思い、夏美に心を寄せる新人作家永山翔平との仕事への情熱、たった26文字にこめられた、大人の恋の全て。

その他のおすすめ…

- ・『深爪』中山可穂 新潮文庫 2003
- ・『真綿荘の住人たち』島本理生 文藝春秋 2010

F**恋愛小説入門型**

恋愛小説をあまり読まない、“恋愛小説初心者”のあなたは、“恋愛小説入門型”です。そんなあなたはドブツリ恋愛漬け、いかにも恋愛！という小説に多少抵抗があるのかもしれませんが。まずはさらりとした恋愛風小説をオススメします！

**『空色メモリ』**

越谷オサム
東京創元社 2009
坂越高校文芸部のハカセ、そこに出入りするプーちゃんと呼ばれる俺、もてない俺達が熱い恋をした！だけど、俺が綴った日記が思わぬ波紋を巻き起こす。学園小説の決定版。

その他のおすすめ…

- ・『春期限定いちごタルト事件』米澤穂信 創元推理文庫 2004

読書マラソン 結果発表!



2010年12月1日～12月23日に開催された学生図書委員会主催「読書マラソン」の結果を報告します。結果は以下の通りとなりました!

応募者数34名

読書マラソンの結果は以下のとおりです

読書賞

- 1位: 藤井理沙さん(総合文化学科)
- 2位: 平山加奈子さん(保育学科)
- 3位: 西川陽子さん(総合文化学科)

POP賞

- 1位: 平山加奈子さん(総合文化学科)
- 2位: 川口絢子さん(保育学科)
- 3位: 福田翔子さん(保育学科)

館長賞

- 千原あずささん(総合文化学科)

1位

スイミーの世界観がよく伝わるポップ。色づかいに目をひかれ、想像力がかきたてられます。



3位

小人たちがとってもかわいい! 不思議な世界観を感じる一枚です。



2位

張り紙を使って表現された独特なポップ。つつい手にとってみたくまりました!



今回、参加期間が短かったにもかかわらず、予想以上の方に参加していただき、図書委員一同大変喜んでいました。ポップ賞は3名の方に贈られましたが、提出されたポップはどれも素晴らしく、長時間の選考となりました。来年度も読書マラソンを開催する予定なので、今回参加できなかった方も、ぜひ参加してみてください!

ご協力ありがとうございました!

『少女七竈と7人の可愛そうな大人』

桜庭一樹著

角川書店

2006



誰もが振り返る美しいかんばせ(顔)を持った少女七竈(ななかまど)と、同じく美しいかんばせを持った幼馴染の少年雪風。しかしその美しさは、小さな田舎町ではただの異形でしかなかった。2人は、鉄道模型でいつも遊んでいた。お互いのかんばせが似てくるにつれて徐々に完成していく2人だけの世界。しかし、その世界を壊してゆく可愛そうな大人たち。ずっと一緒にいたいのに、いられない現実が2人をむりやり大人へと成長させてゆく。大人になるということはこんなにも苦しいことなのだろうか。それでも前に進んでいく七竈の姿がとて切なく、七竈が自分から離れていくことを知った時に見せる雪風の弱さがとても儚い。

(図書委員2年 安田友香)

『おじいちゃんがおばけになったわけ』

作: キム・フォップス オーカソン

絵: エヴァ エリクソン

あすなろ書房

2005



エリックのおじいちゃんは亡くなってしまった。しかし、ある晩おばけになってエリックの元に現れた。おじいちゃんは、「この世に忘れた物」を探すために孫の元へ戻ってきたと言う。死をテーマにした作品だが、マイナスイメージは伝わってこない。むしろ、家族の絆をより一層感じる温かい内容だ。「忘れ物」の正体に涙すること間違いはない。ぜひ読んでみてほしい。

(図書委員1年 藤田仁美)

『荒野』

桜庭一樹

文芸春秋

2008



小説家の父を持つ少女、山野内荒野は、中学校の入学式の日、電車のなかで一人の少年に助けられる。少年のことを気にかける荒野だったが、実は少年は父の再婚相手の連れ子だった。変化していく環境の中で、少女は大人になっていく。父を取り巻く女性たちと少年との距離、同級生との関係にとまどいつつも、子どもから大人へと成長していく。少女の繊細な心情を描く。

(図書委員2年 平木実香子)

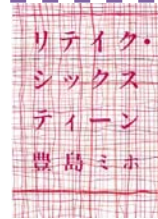
オススメ本
コーナー

『リテイク・シックスティーン』

豊島ミホ

幻冬舎

2009



高校を卒業してから、ああすればよかったと自分の高校生活を後悔した。この作品の主人公の友人、孝子もその一人である。しかも孝子は自分の未来を変えたくて10年後からやってきたらしい。一方、主人公の沙織はお嬢様風の優等生。完璧な人間に見える沙織には沙織で孝子に言えない苦悩があった。友人、家族、恋愛、将来。様々な悩みの中で彼女たちは徐々に成長していく。作者の豊島ミホさんはこの作品をもって休筆された。だからこそ、この作品のもつ意味は大きい。何事だって前向きに考えればいい。未来は希望で輝いている。

(図書委員1年 内田 友恵)

『さよならドビュッシー』

中山七里著

宝島者

2010



「譜面を追っているかのような錯覚」—この作品を読んでいる時の感覚は、まさにこうだった。主人公はピアニスト志望の少女。彼女は高校入学の直前火事に遭い、祖父と従姉妹を亡くし、自らも大怪我を負ってしまう。そんな中でも彼女は夢を諦めず、これまで以上にピアノに打ち込んでいく。しかし、そんな彼女の周りでは、奇妙な事件が多発し始める・・・彼女の日々は、テンポや音量が変化するように次々と移り変わってゆく。そしてそこにミステリーの要素も加わって、益々物語は深みをましてゆく・・・音楽とミステリーが同居した作品。是非一読を!

(図書委員2年 古徳ひとみ)

『親鸞 上・下』

五木寛之著

講談社

2010



「われら悪人でも地獄にいきとうない。救われるものなら救われたい。みな心のなかでそう願うておるのじゃ」平安時代の末。恐怖と裏切りが支配する世の中で生き延びるため、悪事を働かざるえなくなる人々が多かった。悪人は地獄に落ちる。悪事をはたらかねば生き残れない人々が浄土に救われる道はないのか。本気で地獄を信じ、恐怖を抱えて生きる人々を救うすべを、僧・親鸞は仏の教えの中に探す。

(図書委員1年 桑本愛)

ぜひ読んでみて下さい!!



オススメ図書 コーナー

おはなしレストラン

『かみさまからのおくりもの』

ひぐちみちこ著
こぐま社
1984

あかちゃんが産まれるとき、神様はひとりひとりのあかちゃんにおくりものをしてくれる。よく泣くあかちゃんには、「うたがすき」、ほっぺの赤いあかちゃんには「よくわらう」のような……。あなたにも、神様からのおくりものがきつとあるはず。自分にはどんなおくりものだったのかな？ 見つけてみてください。そして、その贈り物を大切にしてください。
(おはなしレストランライブラリー 尾崎智子)



『きみがしらないひみつの三人』

ヘルメ・ハイネ作・絵
天沼春樹訳
徳間書店
2004

きみがうまれた日、アタマはかせ、ハートおばさん、いぶくろおじさんという三人の友だちがやってきて、きみの中で動き始めた。三人のともだちは、いつもきみと一緒にいて、きみを応援してくれる。きみが、この世からさよならする日まで……。生まれてから死ぬまでの頭・心・体のはたらき、そして、この世からなくなった後のことについて、優しい言葉で描かれた絵本。
(おはなしレストランライブラリー 内田絢子)



司書さん今月のオススメ本

今月は北井さんです！
(図書館司書)

『ガダラの豚』

中島らも著
集英社文庫
1996



大学時代に友人に勧められて読んだ一冊。この本を読み終えたのは、バイトに向かう電車の中。興奮してドキドキが止まらなかったのを覚えています。一番おもしろかったとか、一番感動したとかではないけれど、読むことを止められなかった本、一番。何回か読み返してみたけど、あの時のあそこまでの興奮はやはりあの時だけのもの。生涯、後1回くらいこんな本に出会えることを願いつつ、この本を紹介してくれた友人に感謝。

◎このマンガ、おススメです。



『高校球児ザワさん』
三島衛里子著
小学館

この本の主人公のザワさんは女の子です。でも、硬式野球部に所属しています。マネージャーではありません。選手としてです。そんな彼女の、リアルで何ともないような日常を淡々と、しかし鮮やかに描いた作品です。これを読めば、あなたもきつとザワさんに惚れるはず。

図書館委員長コラム 「図書館委員日誌」

ようやく図書館新聞第2号を発行することが出来ました。前回よりは企画を増やしてみたりして内容盛りだくさんな感じになっているので、ぜひ楽しんで読んでもらえれば嬉しいです。

今回は目玉企画として「あなたに合ったラブストーリーは!?診断」を作ってみました。これを作るにあたって、まずは図書館委員と司書さんの間でどんな恋愛小説が好きか？という話になり、その内容が面白かったのでここで紹介したいと思います。まず1番人気だったのは、有川浩さんの「図書館戦争」のようなベタ甘小説。有川さんの書く恋愛って、読んでいるこっちがむず痒くなってしまふ恋愛が持ち味だと思います。ゆえに自分にとってこれが理想の恋愛だ!という人も多いんじゃないでしょうか。

次に出たのが2人の関係は変わらないんだけど、周りで色々問題が起きる小説。例えるなら村山由佳さんの「おいしいコーヒーのいれ方」シリーズの主人公とその彼女。この小説は現在14巻まで発売されていますが、1巻から2人の関係は全くぶれません。でも周りの人たちが2人を巻き込む形で色々問題を起こしてしまいます。でもそれを乗り越えて進んでいく2人の姿はまさに理想の形かもしれません。

そして今回1番面白かったのは、彼女がかなりツンデレな小説。これを詳しく説明すると、男がひたすら女を追いかけるという恋愛の形で、ここで条件となるのが男が年下で女が年上であるということ。追いかけても追いかけてもなかなか振り向かないのが良いんですけど。そして最後は彼女の方が彼をすごく好きになってしまい、ハッピーエンドで終わるのがこの方にとっての王道恋愛らしいですよ。でもこの展開の小説ってほとんど無いし主人公より脇役によくある展開なので読みたいと思った人はぜひ探してみてくださいね。ちなみにおいコーシリーズも年下彼氏と年上彼女の小説です。

そして最後に私の好みの恋愛小説をご紹介します。私が好きなのは切ない恋愛小説。皆誰かのことが大好きなのに何で上手くいかないんだろう？ってところがたまらなく良いんですね。例を挙げるなら島本理生さんの「ナラタージュ」でしょうか。自分が経験出来ない展開だからこそ読めるのかもしれない。

普段小説を読まない人でも、恋愛小説は興味あるかもって人も多いと思います。今回診断結果で紹介した本の中から、ぜひお気に入りの恋愛小説を見つけみてくださいね。

(文:安田友香)